

平成 22 年度における契約状況のフォローアップ

平成 23 年 8 月
独立行政法人都市再生機構

1. 平成 20 年度と平成 22 年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

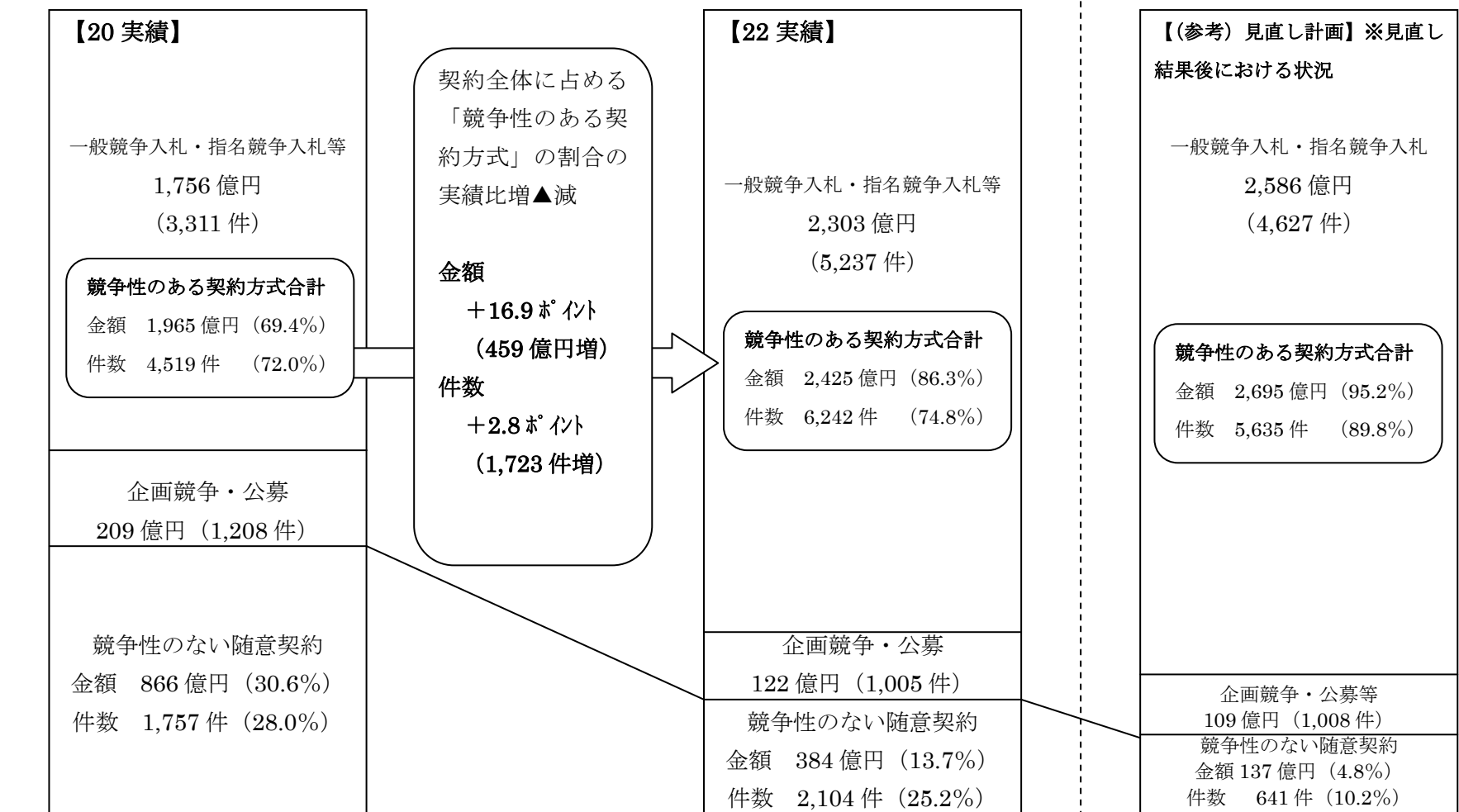
	平成 20 年度		平成 22 年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(52.8%) 3,311	(62.0%) 1,756	(62.7%) 5,237	(82.0%) 2,303	(+58.2%) +1,926	(+31.1%) +547	(73.7%) 4,627	(91.3%) 2,586
企画競争・公募	(19.2%) 1,208	(7.4%) 209	(12.0%) 1,005	(4.3%) 122	(△16.8%) △203	(△41.7%) △87	(91.3%) 1,008	(16.1%) 109
競争性のある契約 (小計)	(72.0%) 4,519	(69.4%) 1,965	(74.8%) 6,242	(86.3%) 2,425	(+38.1%) +1,723	(+23.4%) +460	(89.8%) 5,635	(95.2%) 2,695
競争性のない 随意契約	(28.0%) 1,757	(30.6%) 866	(25.2%) 2,104	(13.7%) 384	(+19.7%) +347	(△55.7%) △482	(10.2%) 641	(4.8%) 137
合 計	(100%) 6,276	(100%) 2,832	(100%) 8,346	(100%) 2,809	(+33.0%) +2,070	(△0.8%) △23	(100%) 6,276	(100%) 2,832

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の () 書きは、平成 22 年度の対 20 年度伸率である。

(注3) 見直し計画の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて (平成 21 年 11 月 17 日閣議決定)」に基づき公表した見直し計画である。

(参考) 図表 平成 20 年度と平成 22 年度に締結した契約の状況



(注 1) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

(注 2) 「企画競争・公募等」には、不落・不調の随意契約を含む。

2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由

見直し計画において一般競争入札等に移行することとしているもののうち、地権者や居住者の理解を得るなどの準備期間を必要とすることから段階的に実施するとしていたことや過去に協定等を締結していた等の理由により、平成22年度においても随意契約を締結したものがあるため。これらを除く、見直し計画において「競争性のない随意契約」によらざるを得ないものとなっている契約に係る平成22年度実績は、584件（7.0%）、114億円（4.1%）である（平成20年度実績とは契約実績・内容が異なるため、割合は見直し計画に掲げるものとは一致しない）。

なお、見直し計画において「競争性のない随意契約」によらざるを得ないものとなっている契約及び過去に締結した協定等に基づき当該協定等期間中は「競争性のない随意契約」によらざるを得ないものを除き、原則として平成22年度をもって「競争性のない随意契約」を完了し、一般競争入札等に移行した。

3. 平成 22 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

- ### ① 一般競争入札へ移行

住宅のリニューアル工事 212 億円

- ## ② 指名競争入札へ移行

該当なし

- ### ③ 企画競争へ移行

該当なし

- #### ④ 公募へ移行

該当なし

4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、億円)

		平成 20 年度	平成 22 年度	比較増△減
2 者以上	件数	4,037 (89.7%)	5,743 (92.4%)	+1,706 (+42.3%)
	金額	1,494 (76.4%)	2,083 (86.3%)	+589 (+39.5%)
1 者以下	件数	462 (10.3%)	475 (7.6%)	+13 (+2.8%)
	金額	461 (23.6%)	330 (13.7%)	△131 (△28.5%)
合 計	件数	4,499 (100%)	6,218 (100%)	+1,719 (+38.2%)
	金額	1,955 (100%)	2,413 (100%)	+458 (+23.4%)

(注 1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注 2) 合計欄は、競争契約（一般競争、指名競争、企画競争、公募）を行った係数である。

(注 3) 比較増△減の（ ）書きは、平成 22 年度の対 20 年度伸率である。

5. 一者応札、一者応募に係る改善方策 (URL : <http://www.ur-net.go.jp/order/tekiseika.html>) ※リンクを張って下さい。